

Fact Sheet

2014年3月期 第3四半期



株式会社マーベラスAQL 市場: 東証第一部 証券コード: 7844 URL: <http://www.maql.co.jp/> お問い合わせ先: 経営戦略室 TEL: 03-5769-7447

マーベラスAQLは、「『驚き』と『感動』を世界に届ける新しいエンターテインメントの創造」を経営理念に、オンラインゲーム、ゲームソフト、アミューズメント機器向けゲーム、音楽映像ソフト、ミュージカル公演等を展開している総合エンターテインメント企業です。

連結四半期財務情報要約

(単位: 百万円)

	第1四半期 (3か月)	第2四半期 (6か月)	第3四半期 (9か月)	第4四半期 (年累計)
売上高	4,410	9,585	14,666	-
営業利益	849	1,365	2,160	-
経常利益	876	1,385	2,231	-
当期純利益	531	860	1,392	-
一株当たり利益 (円)	9.94	16.10	26.05	-

営業成績

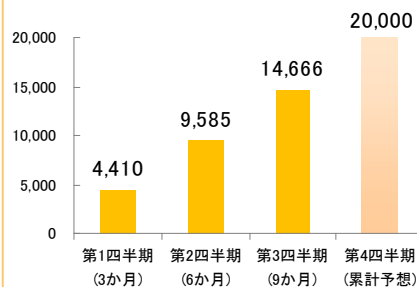
当第3四半期連結累計期間(2013年4月1日～2013年12月31日)におけるエンターテインメント業界は、ソーシャルゲーム市場の成長率に鈍化傾向が見られましたが、スマートフォンの急速な普及により、従来型のWebブラウザゲームに加えて、スマートフォンにインストールして遊べるアプリゲーム市場が急拡大いたしました。また、家庭用ゲーム市場におきましては、欧米で先行発売された新型の据え置き型ゲーム機が非常に好調な売上を記録しており、ゲーム専用機の潜在需要も改めて確認されました。音楽・映像分野では、スマートフォンの浸透に伴う無料動画サイト等の充実から、ソフト市場は依然として厳しい環境下にあります。一方で、会場の雰囲気や一体感を楽しむことができるライブエンターテインメントは、その市場規模を着実に拡大させております。

このような状況下、当社グループは、多彩なエンターテインメントコンテンツをあらゆる事業領域において様々なデバイス向けに展開する「マルチコンテンツ・マルチユース・マルチデバイス」戦略を基軸とした総合エンターテインメント企業として、強力なIPを中核としたブランディング戦略・アライアンス戦略・グローバル戦略を積極的に推進し、話題性の高いコンテンツの提供とサービスの強化に取り組んでまいりました。

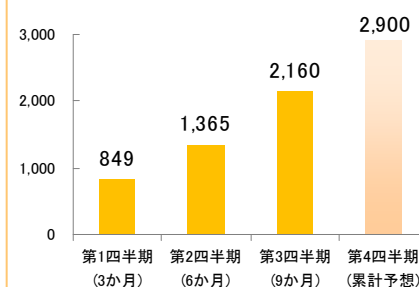
この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高14,666百万円(前年同期比20.8%増)、営業利益2,160百万円(前年同期比25.9%増)、経常利益2,231百万円(前年同期比33.4%増)、四半期純利益1,392百万円(前年同期比0.5%増)となりました。

四半期業績グラフ (単位: 百万円)

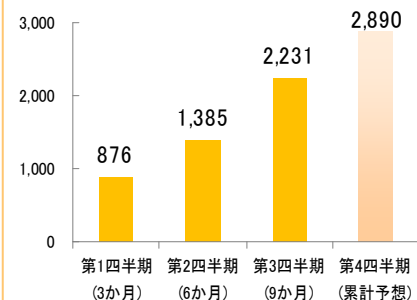
売上高



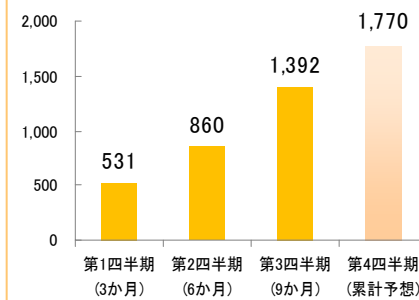
営業利益



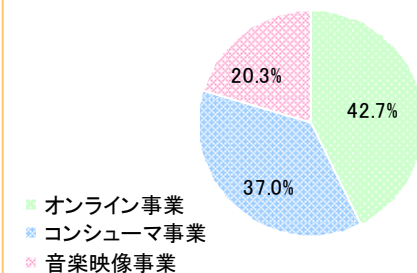
経常利益



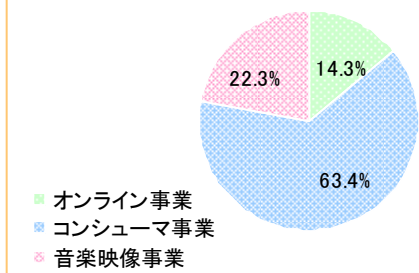
当期純利益



セグメント別売上高比率



セグメント別営業利益比率



財務情報要約
についてのご留意点

当社は、2013年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。一株当たり利益については、株式分割を考慮した数値となっております。

オンライン事業

代表的タイトル

ブラウザ三国志



©MarvelousAQL Inc.

一騎当千バーストファイト

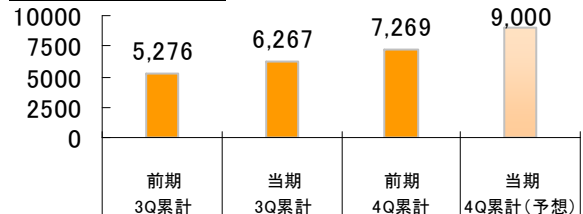
© 2011 塩崎雄二・ワニブックス/
一騎当千集録闘士血風録パートナーズ
© MarvelousAQL Inc.

業績説明

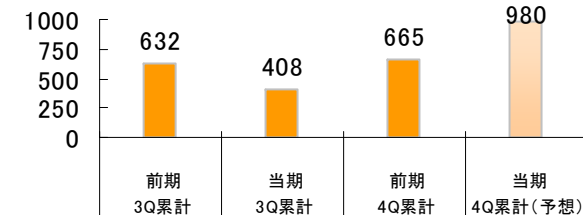
PCブラウザゲームにおきましては、「ブラウザ三国志」をはじめとする主力タイトルが引き続き健闘しておりますが、リリースからの年月経過や、市場自体の縮小傾向に伴う一方で、収益面では前年同期を下回る結果となりました。モバイルゲームにおきましては、前期から好調の「一騎当千バーストファイト」、「閃乱カグラ NewWave」に続きまして、2013年9月リリースの「ハイスクールD×D」が順調に立ち上がりました。また、LINE向け初のタイトルとなる「LINE らんらん勇者」を2013年11月に、PCゲームでも根強い人気を誇る「剣と魔法のログレス」のネイティブアプリ版を2013年12月にリリースいたしました。しかしながら、会員数の伸びに比例せず、課金売上に繋がらなかった「コインサーガ」や「聖戦ドラゴンオーブ」の推移が芳しくなく、結果として、サービス停止による開発費の一括償却を行っております。

これらの結果、売上高は6,267百万円(前年同期比18.8%増)、営業利益は408百万円(前年同期比35.5%減)となりました。

売上高(単位:百万円)



営業利益(単位:百万円)



コンシューマ事業

「閃乱カグラ」シリーズ



©2013 MarvelousAQL Inc.

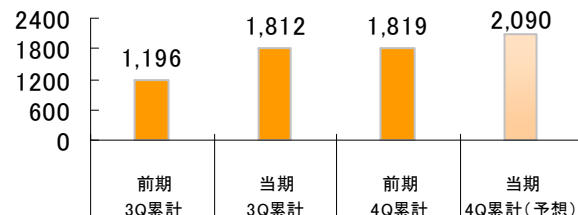
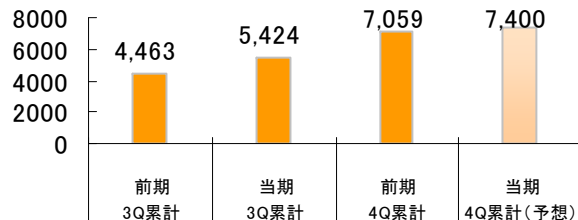
ポケモンレッタ

©2013 Pokémon.
©1995-2013 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc.
Developed by T-ARTS and MAQL

自社販売部門におきましては、2013年5月発売の「ヴァルハラナイツ3(PS Vita)」が順調な販売となりました。また、前期発売の「閃乱カグラSHINOVI VERSUS 少女達の証明(PS Vita)」や「籠村正(PS Vita)」,その他の旧作リピート受注も好調に推移いたしました。海外事業につきましても、米国子会社Marvelous USA, Inc.の販売が順調に推移いたしました。

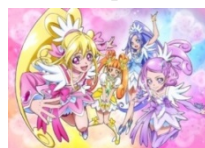
アミューズメント部門につきましては、2012年7月に移働を開始した、キッズアミューズメント筐体の「ポケモンレッタ」が好調を継続しており、当事業の収益に大きく貢献いたしました。

これらの結果、売上高は5,424百万円(前年同期比21.5%増)、営業利益は1,812百万円(前年同期比51.5%増)となりました。



音楽映像事業

「プリキュア」シリーズ



©ABC・東映アニメーション

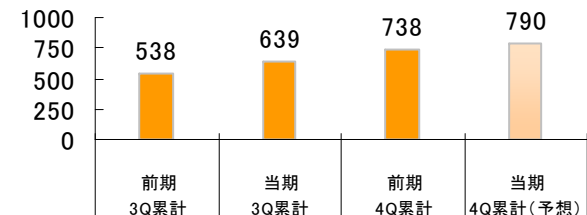
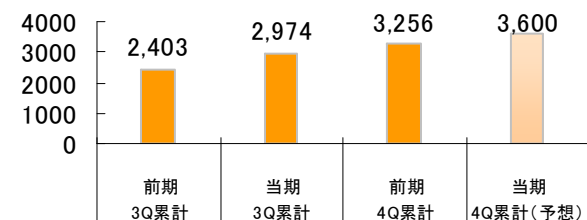
ミュージカル『テニスの王子様』

©許斐 剛/集英社・NAS・
新テニスの王子様プロジェクト
©許斐 剛/集英社・テニミュ製作委員会

音楽映像制作部門におきましては、プリキュアシリーズのTVアニメ「ドキドキ!プリキュア」や当社主幹事作品のTVアニメ「やはり俺の青春ラブコメはまちがっている。」の映像商品化を行い、いずれも順調な推移となりました。

ステージ制作部門におきましては、「ミュージカル『テニスの王子様』」において合計134公演分の実績を計上し、関連DVDを6作品発売いたしました。また、「舞台『弱虫ペダル』」や「ミュージカル『薄桜鬼』」も当事業の主力シリーズとして、舞台公演と関連DVDの両方が収益に貢献しております。

これらの結果、売上高は2,974百万円(前年同期比23.7%増)、営業利益は639百万円(前年同期比18.7%増)となりました。



■ IBMMV ■ AQI ■ マーベラスAQL

〔連結損益計算書〕

(単位:百万円)

		2009.3	2010.3	2011.3	2012.3	2013.3	2014.3 3Q累計
売上高	旧MMV	10,139	8,284	6,965	10,423	17,579	14,666
	旧AQI	6,180	7,197	7,239			
売上総利益	旧MMV	1,616	677	1,740	4,491	8,116	7,256
	旧AQI	2,032	2,586	3,644			
営業利益	旧MMV	-1,238	-1,668	202	1,044	2,329	2,160
	旧AQI	-7	58	1,070			
経常利益	旧MMV	-1,308	-1,725	147	1,025	2,325	2,231
	旧AQI	13	63	1,041			
当期純利益	旧MMV	-1,221	-1,623	131	3,533	1,919	1,392
	旧AQI	-468	58	537			

〔連結貸借対照表〕

(単位:百万円)

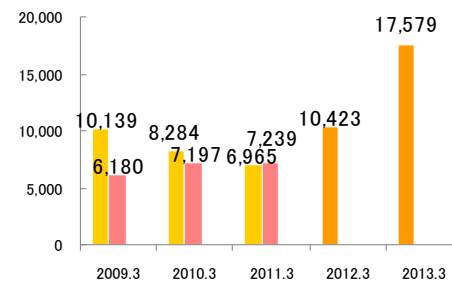
		2009.3	2010.3	2011.3	2012.3	2013.3	2014.3 3Q
流動資産	旧MMV	5,870	3,889	3,271	11,932	12,593	13,812
	旧AQI	6,364	6,377	7,231			
固定資産	旧MMV	860	823	820	1,734	2,748	2,441
	旧AQI	1,414	1,403	1,003			
総資産	旧MMV	6,731	4,713	4,092	13,667	15,341	16,254
	旧AQI	7,779	7,780	8,235			
流動負債	旧MMV	5,431	4,447	3,496	4,361	4,570	4,760
	旧AQI	1,272	1,186	1,320			
固定負債	旧MMV	8	72	271	202	76	58
	旧AQI	90	169	35			
純資産	旧MMV	1,291	193	325	9,102	10,694	11,435
	旧AQI	6,416	6,424	6,878			
自己資本	旧MMV	1,276	193	325	9,102	10,694	11,435
	旧AQI	6,364	6,417	6,878			

〔キャッシュ・フロー計算書〕

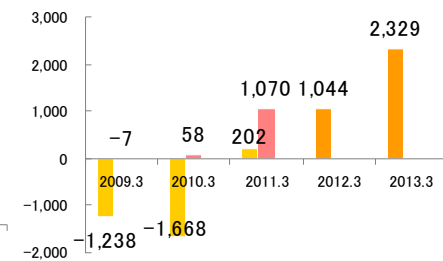
(単位:百万円)

		2009.3	2010.3	2011.3	2012.3	2013.3	2014.3 3Q
営業活動による キャッシュ・フロー	旧MMV	-1,038	-210	1,360	1,399	2,817	-
	旧AQI	-35	-193	2,904			
投資活動による キャッシュ・フロー	旧MMV	-153	-22	-246	435	-2,130	-
	旧AQI	-114	-598	-2,762			
財務活動による キャッシュ・フロー	旧MMV	937	5	-237	-479	-975	-
	旧AQI	-40	104	-216			
現金及び現金同等物 期末残高	旧MMV	1,109	874	1,749	5,979	5,723	-
	旧AQI	3,187	2,483	2,401			

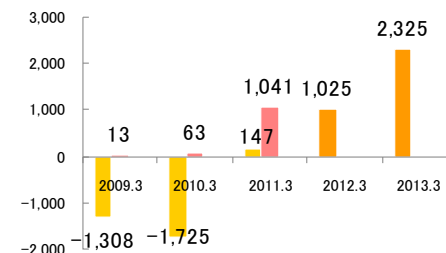
売上高(百万円)



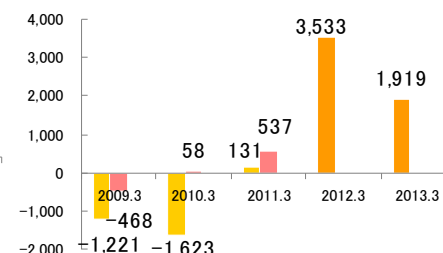
営業利益(百万円)



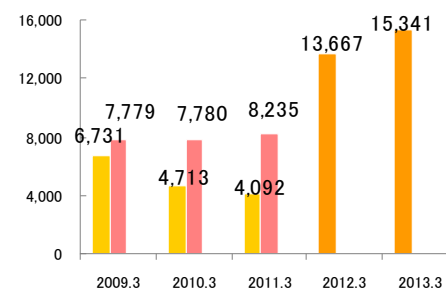
経常利益(百万円)



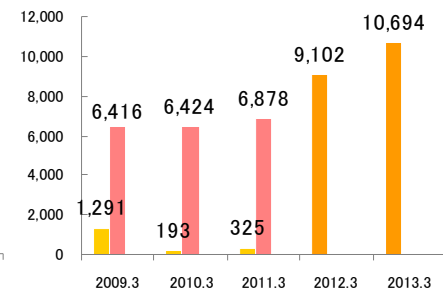
当期純利益(百万円)



総資産(百万円)



純資産(百万円)



〔一株当たり指標〕

		2009.3	2010.3	2011.3	2012.3	2013.3	2014.3 3Q累計
一株当たり当期純利益 (円)	IBMMV	-145.67	-136.18	10.76	107.62	35.90	26.05
	IBAQI	-86.25	10.76	98.73			
一株当たり純資産 (円)	IBMMV	153.64	15.83	26.65	170.29	200.07	213.92
	IBAQI	1,171.16	1,180.61	1,261.95			

〔収益性〕

		2009.3	2010.3	2011.3	2012.3	2013.3	2014.3 3Q累計
売上高総利益率 (%)	IBMMV	15.9	8.2	25.0	43.1	46.2	49.5
	IBAQI	32.9	35.9	50.3			
売上高営業利益率 (%)	IBMMV	-12.2	-20.1	2.9	10.0	13.3	14.7
	IBAQI	-0.1	0.8	14.8			
売上高経常利益率 (%)	IBMMV	-12.9	-20.8	2.1	9.8	13.2	15.2
	IBAQI	0.2	0.9	14.4			
売上高純利益率 (%)	IBMMV	-12.0	-19.6	1.9	33.9	10.9	9.5
	IBAQI	-7.6	0.8	7.4			

〔効率性・安全性〕

		2009.3	2010.3	2011.3	2012.3	2013.3	2014.3 3Q累計
ROE (%)	IBMMV	-62.8	-220.9	50.6	75.0	19.4	-
	IBAQI	-	0.9	8.1			
ROA (%)	IBMMV	-18.0	-30.2	3.4	11.6	16.0	-
	IBAQI	0.2	0.8	13.0			
自己資本比率 (%)	IBMMV	19.0	4.1	7.9	66.6	69.7	70.4
	IBAQI	81.8	82.5	83.5			
D/Eレシオ (%)	IBMMV	210.1	1,099.6	559.7	15.2	7.9	6.2
	IBAQI	5.5	6.9	1.1			

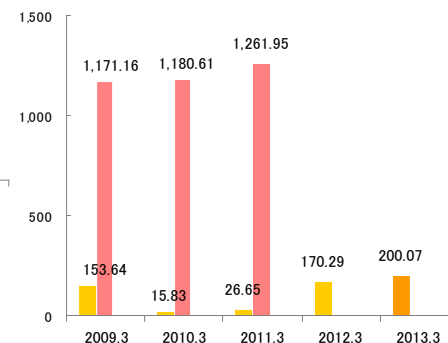
〔株主還元〕

		2009.3	2010.3	2011.3	2012.3	2013.3	2014.3 3Q
配当額 (百万円)	IBMMV	0	0	0	323	668	-
	IBAQI	0	81	201			
DOE (%)	IBMMV	0.0	0.0	0.0	6.1	6.8	-
	IBAQI	0.0	1.3	2.9			
配当性向 (%)	IBMMV	0.0	0.0	0.0	5.6	34.8	-
	IBAQI	0.0	139.3	37.5			

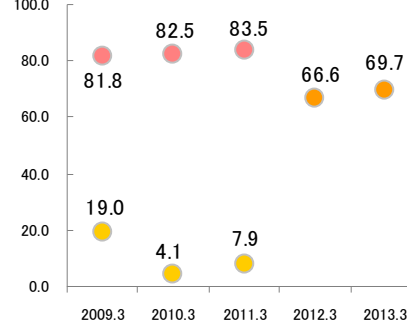
一株当たり当期純利益 (円)



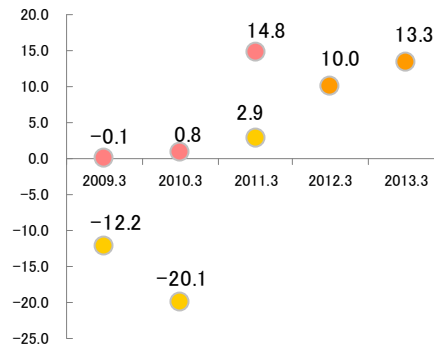
一株当たり純資産 (円)



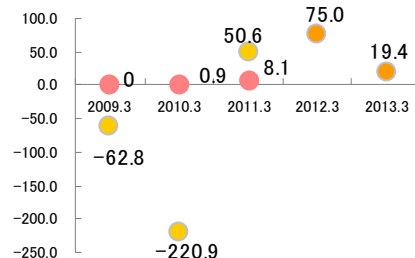
自己資本比率 (%)



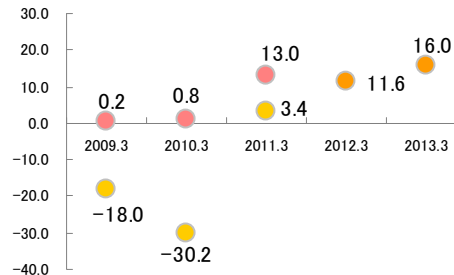
売上高営業利益率 (%)



ROE (%)



ROA (%)



一株当たり指標
についてのご留意点

当社は、2013年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。一株当たり指標については、株式分割を考慮した数値となっています。

今後の展開・今期の見通し

当社は、2012年11月1日、経営統合から1年で東京証券取引所市場第一部に上場し、新たな第一歩を踏み出しました。

今後は、総合エンターテインメント企業としての強みを活かし、各事業間の更なる水平展開の拡充やフラグシップタイトルの創出に取り組み、更なる統合シナジーを発揮していきます。また、モバイル事業の拡充や海外事業の強化など、時代を見据えた施策を実行することで、さらなる成長を目指し、世界を驚愕させるコンテンツプロバイダーへと進化していきます。

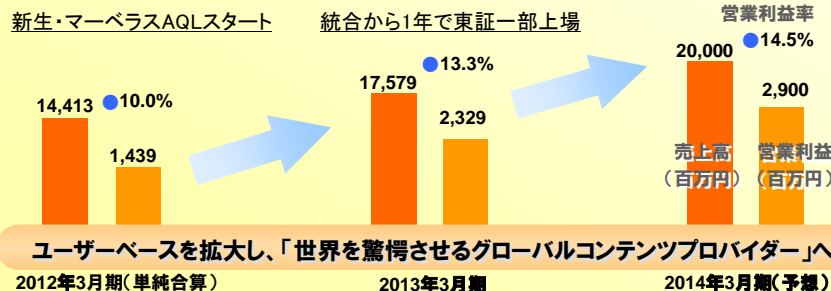
2014年3月期の事業展開につきましては、2013年3月期好調に推移したコンシューマ事業及び音楽映像事業を堅調維持させるとともに、引き続きオンライン事業に最大注力してまいります。特に、モバイルゲーム分野におきましては、新たに事業の柱となるようなタイトルを立ち上げるべく、これまで以上に取り組みを強化する所存であります。

以上の取り組みにより、2014年3月期の連結業績につきましては、売上高20,000百万円、営業利益2,900百万円、経常利益2,890百万円、当期純利益1,770百万円を見込んでおります。

「強力なIPの創出・育成」と「総合エンターテインメント企業」の強みを活かした戦略を強化・拡大・スピードUPし、事業拡大と収益性の向上を目指します

本格稼働・強化・拡大・スピードUP
強力なIPを中核とした展開
更なる統合効果を発揮

Next Stage



基本情報

会社概要(2013年9月30日現在)

- ・商号 : 株式会社マーベラスAQL
- ・本社 : 東京都品川区東品川4丁目12番8号 品川シーサイドイーストタワー5階
- ・設立 : 1997年6月25日 ・資本金 : 11億2,847万円
- ・役員 : 代表取締役会長 中山 晴喜 取締役(社外) 中村 俊一
代表取締役社長 許田 周一 取締役(社外) 久野良木 健
取締役副社長 青木 利則 常勤監査役(社外) 辻 勇
取締役 松本 慶明 監査役(社外) 西 巖
取締役 山角 信行 監査役(社外) 西村 勝彦
取締役 山口 善輝

事業内容

- オンライン事業** 多彩なプラットフォームに向け、オリジナルIPや他社有力IPを活用したゲームやアプリを開発
- コンシューマ事業** 家庭用ゲーム機向けゲームソフト、アミューズメント施設向けゲーム機の企画・開発・制作・販売
- 音楽映像事業** 音楽、映像等多様なコンテンツの企画・プロデュース・制作・販売、及び、舞台・ミュージカルの企画・制作・興行

株式情報(2013年10月1日現在)

- ・期末 : 3月31日 ・単元株数 : 100株
- ・発行可能株式総数 : 90,000,000株 ・発行済株式総数 : 53,593,100株
- ・株主数 : 10,629名(2013年9月30日現在)

[主要株主/所有株式の割合] (2013年9月30日現在)

・中山 隼雄	18.32 %
・株式会社アミューズキャピタル	12.50 %
・中山 晴喜	10.22 %
・資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	5.20 %
・日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3.47 %
・株式会社アミューズキャピタルインベストメント	3.43 %
・ドイチェバンク アーゲー ロンドンピービー ノトリティアー クライアンスツ 613	3.37 %
・日本証券金融株式会社	2.66 %
・株式会社東北新社	1.45 %
・ノムラピービーノミニーズ ティーケーワンリミテッド	1.16 %

[株価](2014年2月5日現在)

- ・株価 : 598円
- ・時価総額 : 32,048百万円